

## ご挨拶（100年の建物を）

平成 22 年 11 月吉日

多摩防水技研株式会社  
代表取締役 草場 清則

昨年は、建築再生展に 3 社合同で展示させていただきました。多くの方にご来場いただきました。ありがとうございました。その時の技術をさらに進化させ出展させていただきました。今年はさらに、UI シールドを加えております。よろしくお願い致します。

我社は、シーリング防水の仕事を 40 年間続けてきました。お客様からの要望に真摯に向かい合ったと思います。気がつけば防水関連の仕事ではありますが、多様な仕事が増えてまいりました。そして、シーリング防水の範囲を越え 建物外壁の改修・改装工事をやっていました。経営理念である、「**当たり前**のことを・ぼんやりしないで・ちゃんとやる」という観点から、我社は今後、**100 年の建物を考える**ことを目指したいと思います。

### A：当たり前のことを（仕事を下さるのは、お客様。お客様視点に立つ）

#### お客様の期待される建物の寿命は？

スクラップ・アンド・ビルトと呼ばれる時代から、ストック社会への移行が語られています。ベビーブームの世代が現役から退こうとしている今、当然の時代の移り変わりです。地球温暖化がそれに拍車をかけます。少ない資金と人手を如何に有効に使い、ストック社会に向かい合うのか？

サステナブルな組み立てをすることが、企業の社会的責任として求められています。今ある建物を、より長く・より安上がりに・より健全に維持すること。お客様の当り前の要望です。100 年の建物から 200 年の建物と言われる時代、我社はまず **100 年の建物を考えたい**と思います。

### B：ぼんやりしないで（より良い材料を選び、より確かな工法で、無駄なく）

今までは、10 年持てばいい材料と工法だったと思います。100 年（200 年？）の建物の視点を持つと、材料の選択も工法も変わります。我社は、これからの塗膜防水のメインとして、**超速硬化ウレタンスプレー**を選択しました。

① 建物に今より丈夫な雨合羽を着せて建物の寿命を延ばすという考え方

・工場生産の製品による屋上防水の提案（特許申請中）と、超速硬化ウレタンスプレーの組み合わせで、**25 年以上の防水保証**を目指します。

可塑剤の少ないピュアなウレタン（超速硬化ウレタンスプレー）を使用し、工場生産で強靱なウレタンシートを作ります。製品のばらつきをなくし、25年以上もつ性能を目指します。25年後、塗り重ねできればさらにいいかと思えます。

施工時のコストは少しアップしますが、従来の10年ごとの塗り替えが不要になり、それにとまなう足場かけなどを含むリニューアル費用の削減が出来ます。工場生産のため、品質の確保が容易になり、無駄な材料・廃材が少なくなります。工期短縮ができ、コスト管理が楽になります。

## ② 施工した防水材を経年測定により性能の限界を探し、不必要なリニューアル工事を減らし、維持管理費を減らすという考え方。

シーリングの劣化の状態を測定するためのシーリング・マモルシステム（特許）を作りました。施工管理の一環として使用します。また施工時にビル外壁目地等に埋めこんだジグをそのままにして、シーリングの劣化の状態をデーターとしてつかみ、リニューアルの適切な時期を判断する資料とします。不必要なリニューアルを行わないですむことを意図しています。超速硬化ウレタンスプレー＝ウレタンシートの施工でも、同様に品質確認・経年変化の追跡確認を考えています。

## ③ 夏の日射を和らげ、やさしい日蔭を作る技術（U I シールド）で冷房費用の削減と温暖化の防止を図るという考え方。

今まで、あとから硝子にフィルムを貼るか、あらかじめ工場で硝子に高反射塗料をコーティングすることにより、硝子からの赤外線の入りを防いでいました。これからのリニューアルを考え、私たちは経年変化が少なく黄変も少ないU I シールドを選択しました。性能の比較・工法の比較・未来の技術としての可能性、いくつかの観点からの選択でした。

## C：ちゃんとやる（日報・記録・報告書、施工能力アップとチェックを当たり前にします）

日報等の記録チェックは当然です。防水材も施工した製品の施工時の性能検査・経年していく過程での性能検査が当たり前の時代になっていくと思えます。**やりっぱなしは仕事とみなされなくなるのが、100年への時代です。**メーカーと繋がり、情報を施工者側も管理し、メーカーやお客様とキャッチボールする。施工を生業にするものにとって、施工能力の研鑽は必須です。メーカー、施工者・お客様・この三者の情報交換なくしては正しい状況把握と解決策の検討、研鑽できません。**システムとしての研鑽能力をもつこと。**当たり前のことが・・・なんと程遠いことか。・・・現状は雨が降り、風が吹けば、仕事が出来ず、日給がもらえない。60歳過ぎれば現場に入れず仕事が出来ない。技術の習得は現場での親方の片手間仕事。・・・胸を張り、技術者としてのプライドを持てるのは、ほんの一握りの世界です。私たちは施工者として、研究と講習の場は必須と考えます。同時に、ちゃんと

した収入と保証体制も意識します。・ ・ 60 歳過ぎでの作業場＝工場も必需品です。

共同開発のため、アクリル板やポリエチレンなどの加工業者さんを探しています。オートメーション化するための提携会社も探しています。蒸着・コロナ放電・非破壊検査さまざまな知識・技術とのネットワーク構築を求めます。マニアックな小さな企業も有り難いです。真摯な技術の共同構築の場を求めます。これからは、ネットワークの時代です。

「働くという字は人が動くと書く。人が動くのは、自分のためになる・みんなのためになる・世の中のためになるという、夢や希望や志があつてのこと。それに則った技術でなければ定着しない」このように話してくれた人がいます。その通りだと思います。

### お願い

今回、3つの展示をさせていただきました。我社として、次世代に向けての試みです。テスト施工をさせていただける現場を探しております。それなりに時間をかけてきましたが、まだ経験が十分でない部分もあります。検証を繰り返し技術の実証と進化を図る必要があります。

また、今回超速硬化ウレタンスプレーは、防水材としての提案をさせていただきました。この材料は、車が走れるほどの強靱さと、10年に1mmしか劣化しないという安定性を併せ持ち、更に優れたコピー能力による造形機能を有しています。更なる、用途開発をと思います。皆様のご提案をお待ちしています。

いっしょに新しい当たり前をつくりましょう。

経営理念に賛同して下さる方、企業とのネットワーク作りを進め、新しい当たり前を作りましょう。そして私たちと仕事をしてよかったなと思って頂けたら幸せです。

今回、展示会にて私たちのブースに立ち寄られたこと。そしてこの文章を最後まで読んで頂きましたことに、厚く御礼申し上げます。皆様のご健康とご活躍、心より祈念申し上げます。